

は一つ、敵の間者につけねらはれて、心山科腰
拔武士と、人の誹に大石良雄、深き匠は知る人
ぞ知る、かくて敵の心はゆるみ、張りし警固の
薄ぎ行くを、天の興と待つとも知らず、月は變
れど日は命日に、當る師走の十四日には、吉良
の家敷に茶の湯のお客、本望遂げんはこの時こ
の夜、敵の油断に打ち入る手筈。
討ち入り（敵打ち）

矢竹心の巖をも通す、義士の面々氣は張り弓

の、忍び道具で家敷を破り、裏と表の二手に別
れ、亂れ入りたる心地はいかに、やおれ上野覺
悟をめされ、恥を蒙り怨を呑みて、うせしたく
みの淺野の家來、首を受取る差出し召され、名
乗る物音丑滿夜半に、夢を破られ寐卷の儘に、
慌て手向ふもの追ひ散らし、目指す怨の在かは
どこと、探す槍にて仕止めて見れば、小屋の中
には額の劔に、紛れがたきの上野あれば、討て
相圖のかちどきの笛、やがてほのく明け行く

空に、胸にかゝりし雲霞もはれて、昇る心の旭
の影に、氣も白妙の雪ふみ別けて、首を手向け
て御無念晴らし、やがて散りにし櫻の花は、君
を思ひの忠義の鑑、後の世迄も名は高輪の、香
の煙に立ち上りけり、今は昔と世は代れども、
變るものかや忠義の道は、君の爲には命をも捨
て、國の爲には命をもすて、盡す心は我敷
島の、大和心の花なり實なり。

五七 農業訓

△食は天下の本なり、黄金萬鎰飢を療すべから
ず、白玉千箱凍を救ふ能はず。

田園訓終

大正四年十一月廿五日印刷
大正四年十一月廿八日發行

【定價金五拾錢】

田園訓
奧付

不許複製

著者

高山秀雄

發行者

河本龜之助

東京市麹町區平河町五丁目三十六番地

印刷者

河本俊三

東京市麹町區平河町五丁目一番地

印刷所

洛陽堂印刷所

東京市麹町區麹町二丁目九番地

發行所

電話番町四二五八番
振替東京二〇九一四

洛

東京市麴町區
平河町五丁目
陽堂

愛知縣農
林學校長

農學士 山崎延吉先生著

版 三

農村教育論

菊版五百八十頁
總布製箱入
定價壹圓九拾錢
送料拾六錢

學術、經驗、人格三者兼備りて著述はじめて眞價あり我山崎先生の如くにして初めて眞に書を著すに足る人と謂ふべし、先生曩に『農村自治』を研究し次で『農家の經濟』を講説し最後に此書に於て農村教育を詳論せらる三大著述初めてこゝに完成す他の片々たる隨筆拔萃の編著と異なり眞に系統あり組織あり經綸あり熱誠あり先生の全知識全人格を發揮せる絶大文字は即ち是なり。

發行所

東京市麴町區平河町五丁目卅六番地
振替貯金口座東京二〇九一四番

洛陽堂
(電話番町四二五八番)

文部省通俗圖書認定
茗溪會通俗圖書選獎

天野藤男先生著

版 六

農村と娛樂

菊版四百頁
總布製箱入
定價壹圓三十錢
送料拾二錢

天野藤男先生著

版 四

田園趣味

四六三百頁
總布製箱入
定價九拾五錢
送料八錢

發行所

東京市麴町區平河町五丁目三六
振替貯金口座東京二〇九一四

洛陽堂

長野縣 井上龜五郎先生著

新 版 農家の簿記

定價五拾錢
送料八錢

石黒男爵題辭 石川弘先生著

再 版 通俗孝子傳

定價六拾錢
送料八錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目三六
振替貯金口座東京二〇九一四

洛陽堂

高山秀雄先生著

五 版 農村夜學讀本

前、後、編
各價廿五錢
送料六錢

花田仲之助先生著

再 版 報德修養講話

菊半三百頁
總布製箱入
定價五拾錢
送料八錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目三六
振替貯金口座東京二〇九一四番

洛陽堂

天野藤男先生著

新版 都市より田園へ

山本瀧之助先生著

一日一善日記

發行所

東京市麹町區平河町五丁目三六
振替貯金口座東京二〇九一四番

洛陽堂

四六版四百頁
總布製箱入
定價壹圓
送料八錢

クロース製
定價貳拾錢
送料四錢

天野藤男先生著

再版 故郷

石川弘先生著

再版 田園生活

發行所

東京市麹町區平河町五丁目三六
振替貯金口座東京二〇九一四番

洛陽堂

菊半三百頁
總布製箱入
定價六拾錢
送料八錢

四六判三百頁
總布製箱入
定價八拾錢
送料八錢

石黒男爵序 山本瀧之助先生著

廿版

一日一善

クロース箱入
定價 四拾五錢
並製 二十五錢
送料 六錢

山本瀧之助先生著

新刊

一日一善日記

定價 二十錢
送料 四錢

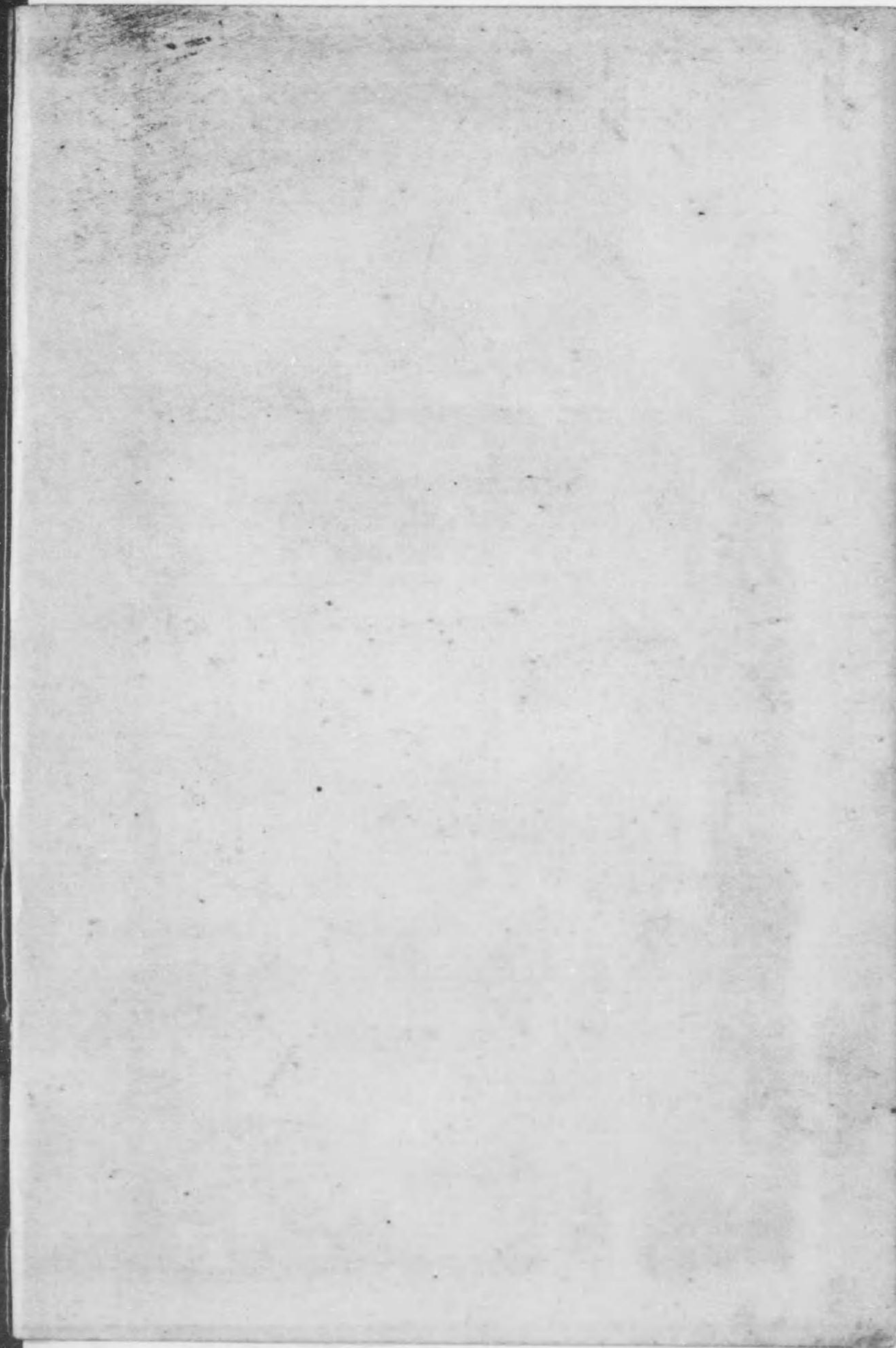
發行所

東京市麴町區平河町五丁目三六
振替貯金口座東京二〇九一四

洛陽堂



71
531



終